

まえがき

このたび、『ソシオロジカ』第42巻第1・2合併号を刊行いたします。

今号は中野毅先生、和田光一先生の退任記念論集とさせていただきます。社会学科、その後の社会学専修・社会福祉専修、社会学メジャーと文学部の大きな変化の中で位置づけを変えていく中で、両先生は社会学・社会福祉学の特徴を発揮できるようにご尽力いただきました。そうした御活躍やご苦勞のご紹介、また御礼などは本号ではとても書きつくせないものでした。そうした点の不行届きは、お許しいただけるのでないかと、両先生の温顔を思い浮かべながら勝手に思っております。中野毅先生、和田光一先生、ほんとうにありがとうございました。また、今後ともよろしく願いいたします。

本誌は1979（昭和54）年2月に創刊されました。文学部全体で『文学部論集』として発行していた紀要を、当時の2学科それぞれで刊行することになり、以来40年にわたって、社会学科の教員・学生を会員とする創価大学社会学会による『ソシオロジカ』として続けております。私ごとになりますが、創刊時には大学院生でしたので、学会の仕事の手伝いをさせていただきました。特に『ソシオロジカ』の封筒詰、運搬時の台車さばきなど、発送業務には専門家として自負できる技能が身につきました。大学院生・教員とずっと関わってきた社会学会ですが、中野先生のご退任に伴い、創価大学社会学会会長をお引受けいたしました。力不足でございますが全力をつくしてまいります。

2018年3月

創価大学社会学会会長 森幸雄

